

「健康とくすり」について学ぶ第一歩を小学校から 日本OTC医薬品協会、“ヘルスリテラシー”を育む出前授業を実施

日本OTC医薬品協会（会長：上原 茂、以下「当協会」）は、「健康とくすり」の重要性を早期に伝えることを目的に、帝京大学小学校（東京都多摩市）および港区立^{こうがい}筈小学校（東京都港区）の2校にてキャリア教育の一環として、出前授業を実施しました。

近年、若年層におけるオーバードーズ（過剰摂取）が深刻な社会問題になっており、「健康とくすり」を早期に教育することの重要性が一層高まっています。こうした背景を踏まえ、当協会では、毎年小学生を対象とした出前授業を継続して行っています。この度のキャリア教育の出前授業では、帝京大学小学校（3年生14名）および港区立筈小学校（5年生23名）の児童を対象に、薬剤師の仕事や活躍の場などを学ぶ機会とともに、「健康とくすり」に関する基礎知識、薬物乱用防止に関しても学ぶ機会を提供しました。



「健康とくすり」授業では健康三原則（「栄養（バランスの取れた食事）」「運動」「休養（十分な睡眠）」）の実践を基本としつつ、体調不調の際にくすりに頼ることもあることから、その適正使用の重要性を伝える講義に加え、クイズや実験を取り入れることで、児童が楽しみながら理解できるよう工夫しました。特に、「なぜくすりをジュースで飲んではいけないか」を視覚的に理解する実験では、粉薬を水とオレンジジュースに入れて比較し、ジュースが勢いよく泡立つ様子に児童たちは驚きの表情を見せ、大変好評でした。また、キャリア教育の授業という観点より参加メンバーが薬学部を選んだきっかけや現在の業務についても伝える時間を設けました。

授業後には将来薬剤師になりたいという児童も見られ、また、多くの児童が積極的に質問を寄せるなど、「健康とくすり」への高い関心がうかがえました。改めて、早期教育の意義を実感する機会となりました。

今後も当協会では、小学校への出前授業の継続に加え、HPによる情報提供など幅広い活動を通じて、生活者への「健康とくすり教育」の啓発ならびにヘルスリテラシーの向上に取り組んでまいります。

■ 出前授業の内容

- ① 健康について考えよう
- ② 薬のことを知ろう
- ③ 実験してみよう（くすりの正しい飲み方を学ぶ実験 2種類）

- ④ 薬剤師の仕事について
- ⑤ まとめ
- ⑥ 薬剤師の生の声（なぜ薬学部を目指したのか、製薬会社で働いている理由など）

■出前授業の感想

児童A「水とジュースでくすりを飲んだときの違いが分かって面白かった」

児童B「くすりの種類や飲み方を知ることができて楽しかった、もっと知りたい」

児童C「将来医者や薬剤師になりたい／薬局や医薬品の会社で働きたい」

先生「なぜ製薬会社で働いているか（薬学部志望理由）などを企業の方から直接聞いたのが良かった」

○帝京大学小学校 出前授業の様子



○港区立筈小学校 出前授業の様子



■参考情報

日本OTC医薬品協会について

当協会は、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」というセルフメディケーションやセルフケアの推進により、人々の健康維持・増進に貢献する業界団体です。日本のOTC医薬品業界を代表するメーカー75社が加盟し、委員会活動を中心に、OTC医薬品の正しい使い方の啓発や薬の説明書の表現方法の検討などに取り組んでいます。また、世界セルフメディケーション協会など国際的な組織団体と連携し、プロジェクトにも参画しています。その活動の一環として、ヘルスリテラシーの向上を目的とした「くすり教育」の推進にも取り組んでいます。特に学童期からの「くすり教育」が重要であるという考えのもと、学校教育現場等における保健体育のカリキュラムにも組み込まれている「健康三原則（栄養、運動、休養）」の実践をサポートするため、体調不良時のくすりの使い方に関する教材を当協会HPで公開し、「健康とくすり」に関する啓発を行っています。

- ・協会HP <https://www.jsmi.jp/>
- ・教材ダウンロードページ <https://www.jsmi.jp/med/education/index.html>

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

広報担当：神沼、田中、橋本

電話:(03)5823-4971 (代表) メール:info@jsmi.jp